

知事コメント

(日米安全保障協議委員会における共同発表について)

昨日、日米安全保障協議委員会において、普天間飛行場代替施設の位置、配置、工法等を含む共同発表がありました。

当該発表によると、普天間飛行場の代替施設について、滑走路をV字型に配置するとのことであります。

県としては、地元の理解を得られない移設案を実現することは、事実上不可能であり、日米両政府において、普天間飛行場の県外移設の実現に向けて、真摯に取り組むべきであると考えております。

また、普天間飛行場の代替施設の完了等が、2014年には達成されないことが示されております。

普天間飛行場移設問題の原点は、一日も早い同飛行場の危険性の除去であり、早期に解決を図る必要があることから、固定化は決してあってはならないと考えております。

さらに、在沖海兵隊のグアム移転、嘉手納飛行場より南の施設・区域の返還等については、パッケージ論にとらわれることなく、実現可能なものから、一つ一つ確実に実施していくよう、強く求めてまいります。

平成23年6月22日
沖縄県知事 仲井眞弘多